<2023年度MCFAJクラブマンモトクロス競技規則書>

競技会はこの一般競技規則に基づいて行われ競技の詳細な規則は特別規則及び公式通知によって示される。

1；競技会の名称：2023年ＣＬＵＢＭＡＮモトクロス選手権シリーズ（第107回全日本モトクロス競技大会を含む）

2；主催者：申込み書に示す。

3；大会審査委員会：各大会の公式通知及び公式プログラムにより示される。

4；大会役員及び競技役員：各大会の公式通知及び公式プログラムにより示される。

5；クラス分け及び出走料

●レギュラークラス

1)ジーピー(GP)＝MFJ・IAライセンス所持者、又は同等の者。ただし35歳以上又はMFJ全日本ＭＸに過去３年に３回以上参戦していない場合は申請によりSEクラスへの出走が可能となる。この申請の最終判断はモトクロス委員会による。
また全日本選手権に出場している現役IBの方も含む。

2)スーパーエキスパート(ＳＥ)=上級クラス。MFJ・IBライセンス所持者、又は同等の者。

3)エキスパート(Ｅ)=中級クラス(NA相当)　4)ノービス(Ｎ)＝初心者クラス(NB相当)

●セミレギュラークラス

1）プレノービス＝ＭＸ入門者クラス　※2022-Ｎで入賞経験のない方とMX入門者。FUNバイクも可。

2）オープン=車両・資格制限なし　3）セニアレース＝50歳以上の年齢別レース　4）2ストマニア＝2サイクル車両のみ出走可

5）VMX=ヴィンテージモトクロス：２本ショックやプレスフレーム車をメインとした旧車レース。

※出走料金などは別紙エントリー用紙を参照してください。

		クラス	レベル（資格）	排気量	ゼッケン	
レギュラークラス（ランキング対象）	2ヒート制	GP（ジーピー）	最上級クラス(IA・現役IB相当)	フルサイズオフロード車 2st.101cc以上／4st.175cc以上	赤地×白文字	20分×2ヒート制
		SE（スーパーエキスパート）	上級クラス(IB相当)		青地×白文字	20分×2ヒート制
		GP150（ジーピー150）	最上級クラス(IA・現役IB相当)	150クラスオフロード車 2st.51～111cc ／4st.51～170cc	赤地×白文字	15分×2ヒート制
		SE150（スーパーエキスパート150）	上級クラス(IB相当)		青地×白文字	15分×2ヒート制
	1ヒート制	E-F1（Eフルサイズ=午前）	中級クラス (Eフルサイズ・NA相当)	フルサイズオフロード車 2st.101cc以上／4st.175cc以上	黄地×黒文字	各15分×１ヒート制 ※Wエントリー割引あり
		E-F2（Eフルサイズ=午後）				
		E-M1（E150=午前）	中級クラス (E150クラス・NA相当)	150クラスオフロード車 2st.51～111cc ／4st.51～170cc	黄地×黒文字	各15分×１ヒート制 ※Wエントリー割引あり
		E-M2（E150=午後）				
		N-F1（Nフルサイズ=午前）	初級クラス (Nフルサイズ・NB相当)	フルサイズオフロード車 2st.101cc以上／4st.175cc以上	白地×黒文字	各10分×１ヒート制 ※Wエントリー割引あり
		N-F2（Nフルサイズ=午後）				
		N-M1（N150=午前）	初級クラス (N150クラス・NB相当)	150クラスオフロード車 2st.51～111cc ／4st.51～170cc	白地×黒文字	各10分×１ヒート制 ※Wエントリー割引あり
		N-M2（N150=午後）				
セミレギュラー（ランキング対象外）	プレノービス		MX入門者クラス	初心者およびNクラスで入賞圏外の方	白地×黒文字	10分×１ヒート制
	オープン		無制限	無制限	該当クラスに準ずる	4～5周レース
	セニア50/60/70/80		50歳以上年代別	資格・排気量オープン	該当クラスに準ずる	4～5周レース
	2ストマニア		資格オープン	2サイクル車両に限る	該当クラスに準ずる	4～5周レース
	ビンテージMX (ツインショック旧車)		(A) プレスフレーム/(B) TS50-90(～'75)/(C) TS125～(～'75)/(D) ツインショックOPEN('76年～) ※詳細は専用のエントリー用紙に記載しています。			4～5周レース

6；開催場所(連絡先)

1)ウエストポイント・オフロードヴィレッジ　www.westpoint.co.jp/
埼玉県川越市東本宿100　TEL.049-226-4141／FAX.042-226-4146(ウエストポイント・クラブハウス)

2)ＭＸ４０８　www.westwoodmx.co.jp
ウエストウッド井原商会　茨城県竜ヶ崎市砂町２７３８－１　TEL.0297-62-7756

3)ウエストポイント・モトクロスヴィレッジ　www.westpoint.co.jp/
埼玉県川越市 今成4-12-13　TEL 049-245-4141／FAX 049-246-5799(ウエストポイント本店)

4)軽井沢モーターパーク　www.herosmx.com
群馬県吾妻郡嬬恋村大字大前1983　　連絡先：（株）ヒーローズ　TEL.0493-59-7001

5)川西モトクロス場　http://www.mfj-niigata.jp/kawanishi.html
新潟県十日町市中屋敷1115　連絡先：川西モトクロス場管理組合　TEL.080-2346-2224

7；開催日及び締切り：参加申し込み書参照（大会の約2週間前の月曜日消印有効）（開幕戦と全日本のみ3週間前）

8；参加資格

・ライダーは16歳以上でその年度のMCFAJライダーライセンス所持者、及び当該レースワンデーライセンス取得者。
・満14歳以上16歳未満でも申請により出走することが出来る。ただし親権者同行のこと。

9；出場申込受付期間及び場所
1)受付期間：参加申し込み書の裏面に記載。締切厳守のこと。
2)申込先：全日本モーターサイクルクラブ連盟　事務局
〒157-0067 東京都世田谷区喜多見1-18-19-101　TEL 03-6273-2807　（エントリー専用FAX 03-6332-8606）

10；定員
1)各大会のスケジュール上、受付を制限することがある。
2)１クラス５台に満たない場合や、救護活動などにより時間に制限がある場合は、他のクラスと混走となる場合がある。なお混走によりレース時間や周回数が変更になる場合がある。（例＝E-M2&N-M2混走時は12分＋1周）

11；出場許可及び拒否
1)正式に出場が受理されたものについてはクラブ代表者宛に発送する出走者リストをもって通知する。
出走許可証は大会当日の受付時に配布。
2)一旦受理された出場料は大会中止以外一切返還しない。
3)大会中止の場合は参加者が支払った出場料は保留されるが、その他一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。
※上記は27項に基づき決定される。

12；車両規則：車両規則 基本仕様による。

13；ライダー、車両及びクラスの変更
1)ライダー変更は一切認めない。
2)車両交換は公式車両検査の前までに申告したものについては可とする。ただし、競技長判断により検査後でも認める場合もある。
3)クラス変更は一切認めない。

14；優勝者、入賞者、完走者及び得点
1)優勝：優勝者は定められた周回数またはレース時間プラス２周（または1周）を最短時間で完走したライダーとする。ただしコンディション悪化等により、定められた時間より早くプラス1～2周のボードが出される場合もある。
2)入賞者及び順位
・入賞者及び入賞順位はチェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され同周回数の場合はゴールライン通過順位による。
・入賞枠は各クラス10位を上限とし下記のとおりとする。
・GP&ＳＥ／GP&SE150=2ヒート総合６位まで
・E-F1・F2／N-F1・F2／E-M1・M2／N-M1・M2=30%／その他セミレギュラークラス＝40%
3)完走：優勝者の７５%以上の周回数を完了したライダーとする。
4)得点
１位=25ポイント／２位=22ポイント／３位=20ポイント／４位=18ポイント／５位=16ポイント／
６位=15ポイント／７位=14ポイント／８位=13ポイント／９位=12ポイント／10位=11ポイント／
11位=10ポイント／12位=９ポイント／13位=８ポイント／14位=７ポイント／15位=６ポイント／
16位=５ポイント／17位=４ポイント／18位=３ポイント／19位=２ポイント／20位=１ポイント
5)入賞者には上記ポイントがそのまま与えられ、入賞外完走者は上記の半分のポイントが与えられる。
ただし2ヒート制となるGP/SE/GP150/SE150は各ヒートごとに上記ポイントが与えられる（フルポイント）。
6)全日本ＭＸは上記ポイントの２倍とする。
7)ワンデーライセンス取得者も同様に正規ポイントが与えられる。
8)N・E・SE・GP各クラスは全戦の合計ポイントで年間順位が決定される。
9)自動昇格者は、全レース終了後に、モトクロス委員会にて決定する。

15；公式通知
・本規則に記載されていない競技の詳細及び指示並びタイムスケジュールは公式通知によって示される。

16；競技ナンバー（ゼッケン）
1)参加車両の競技ナンバーは出場許可証により通知される。左表の通りクラスごとのゼッケンの色を守ること。
2)競技ナンバーは車両規則による。書体はフーツラ体を基本とする。（裏面見本参照）

17；ライダーの装備
1)ヘルメットはJIS規格合格ヘルメットでMCFAJ公認のものであること。未公認ヘルメットは車検時に大会本部にて検査を行う。（公認ステッカー¥100）
2)ウェアー、ブーツ、手袋、パンツ類はすべてモトクロス用のもので身体の安全を確保するものであること。

18；公式車両検査
1)車両検査は公式通知に示された時間に従って車両検査区域で行われる。
2)車両はライダー本人またはメカニックが持参し、タイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。時間外の車両検査は競技長が認めた場合以外行われない。 3)車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された場合は公式予選を含む一切の走行を拒否される。
4)主催者は大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

MCFAJ

19；ライダースミーティング：ライダーは必ず出席して大会当日の注意事項を確認しなければならない。

20；公式練習：ライダーは主催者が設けた公式練習に参加しなければならない。

21；公式予選
・各クラスの台数がフルグリッド30台を越えた場合に公式予選が行われるが、周回数等の詳細は公式通知に示される。

22；スタート
1)スタート方法：スターティングマシンスタート
　ライダーがマシンに整列後15秒のボードが15秒間掲示され、その後5秒のボードが掲示されてから5秒以上10秒以内にゲートが倒れスタートとなる。
2)スタートの行動に入ってから『マッタ』の合図はかけられない。
3)反則スタートがあった場合は赤色旗が振られ再スタートとなる。当該ライダーにはペナルティーを課す場合がある。
4)スタート台数は原則として30台を上限とする。

23；レース中の合図
1)黄色旗=転倒者あり、追い越し禁止。　2)赤色旗=レース中止。再スタート。　3)チェッカーフラッグ=レース終了。
4)青色旗=周遅れ、追い越され注意。　5)黒色旗=指示された車両はゴールライン通過後にコース外で停止。

24；レースの終了
・レースの終了は優勝者の完走後、チェッカー旗が振られマーシャルが一巡することによって示される。

25；車両保管及び入賞車両の検査
1)車両保管が実施される場合、時間及び場所は公式通知に示される。
2)上位入賞車両については、暫定結果発表後３０分以上所定の場所に保管され、必要に応じて検査される場合もある。

26；競技の成立と無効及び中止
1)やむを得ぬ理由によってトップ走者が周回数または時間の2/3に満たない内にレースを中断した場合は、下記26-2項によりレース成立が判定される。
2)トップ走者が周回数または時間の1/2以上を満たし、かつ計測が正しく行われた順位が確定している時は、レース成立とする。また1/2に満たない場合また1/2以上完走するも計測が正しく実施されない場合はこの限りではなく、競技長判断とする。リザルトについては条件付き成立として発表される。

27；レースの延期、中止、および短縮
1)大会審査委員会がレースを中止しなければならないと判断した場合に限りレースを中止することができる。
2)レース中の事故等に伴う警察権の介入、天候等によりレース開催ならびに続行が不能となった場合はレースの延期、中止、またはレース時間（周回数）の短縮を行うことができる。
3)コースオーナー側の責任による事項、または天候悪化により大会が中止となった場合、オーナー側より貸借料の減額、または全額返却が発生した場合は、出場料が保留される。
4)賃借側(MCFAJ)の責任により上記となった場合は、公式予選終了後の中止については決勝進出者、予選のないクラスは公式練習終了者のみ出場料の半額が保留される。（公式練習不出場者はリタイヤとする）
5)上記3項目以外の中止については、コースオーナー及び賃借側の話し合いに基づき、保留が決定される。

28；抗議
1)参加者は自分が不当に処置されていると判断する場合はこれに対して抗議する権利を有する。ただし、規則に規定された出場拒否または競技役員の判定に対しての抗議は受け付けられない。
2)抗議する権利を有するものは、その年度のMCFAJ登録クラブマンであること。
3)抗議は文書によってなし、抗議保証金として１件につき¥10,000を添え競技長を経て大会審査委員会に提出しなければならない。
4)参加車両に対する抗議は抗議対象となる箇所を明確に抗議届に記載し、抗議によって必要となった車両の分解費用はその抗議が否決された場合は抗議提出者、抗議が成立した場合は抗議対象者が支払うものとする。なお、車両の分解等に要した費用は競技長が算定するものとする。

29；本規則の解釈
・本規則及び競技に関する疑義は大会事務局あて質疑申し立てができる。この回答は大会審査委員会の解釈、決定を最終的なものとする。

30；エントラントの注意事項
・大会期間中はスポーツマンシップに則った行動をとり競技役員の指示に従うこと。反則行為があった場合は当該クラブ全体が責任を負うものとする。

31；スポーツ安全保険：2023年登録ライダーはスポーツ安全保険や見舞金制度に加入されます。
※2022年4月以降参加者は2023年3月末まで有効。2023年度加入は4月以降初の参加レースに於いて加入することになる。

32；本規則の施行：本規則は2023年１月１日より施行する。

＜車両規則＞

参加車両は市販レーサーまたは一般市販されたオフロード用モーターサイクルで、次の条件によって安全に整備され、しかも走行上安全なものでなければならない。

1；排気管及び消音器
1)必ずサイレンサーを装備すること。その後端はリヤタイヤ後端を通る垂直線より突出してはならない。
2)4st車両の音量規制は基本的に96db以下とする。なお国産ニューモデルはノーマルの94dbを推奨する。
なおMX408においては2m MAX方式で114db以下とする。
3)KX250・450Fは、オフロードヴィレッジでの走行において消音機規制があります。レース当日および練習日も同様。
・2011年式以降の車両＝ノーマルサイレンサーでOKです。
・2010年式以前の車両＝サイレンサー出口が水平より30°下向きの対策部品を装着のこと。

2；フェンダー
1)フェンダーを取り付ける場合はタイヤ幅よりも左右それぞれ10mm以上張り出していること。
2)フロントフェンダーはタイヤの周囲を少なくとも100度以上カバーしていること。フロントフェンダーの前端とホイールの中心を結ぶ線とホイールの中心を通る線のつくる角度は45度以上60度以内とする。

3；キャブレター・インジェクション及びエアークリーナー・その個数、改造、調整、取り外しは自由である。

4；過給器・過給は一切禁止される。

5；コントロールレバー
1)レバーの先端は19mm以上の球形で容易に脱落するものであってはならない。
2)レバーの長さはピポット部より200mm以内とする。

6；ハンドルバー
1)ハンドルバーの幅は600mm以上850mm以内とする。
2)グリップは150mm以内とする。
3)ハンドル切れ角は中心より両側に20度以上であること。
4)**金属製のブッシュガードの使用は不可。**プラスチック製のハンドガード（オープンタイプ）は使用可。

7；フートレスト
・フートレストは前後車輪の中心を通過する線の50mm上方より下側に、そして後輪の中心を通過する垂線より前側に取り付けられ容易に操作できる位置にあること。

MCFAJ

8；ブレーキ・前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えていること。

9；取り外さなければならないもの・ライト類、バックミラー、スタンド、チェーンケース等。

10；タイヤ・MX競技用などオフロードタイヤであること。タイヤチェーン、スパイク等の滑りどめ加工をしてはならない。

11；ゼッケンプレート
1)ゼッケンプレートの大きさは左右285mm以上、天地235mm以上を基本とする。
2)取り付け位置
・1枚は車両の前面に垂直線から30度以内の角度に固定され他の2枚は両側に垂直に固定されていること。
3)ゼッケン書体
ゼッケンはフーツラ体を基本とし以下の数値を満たしていること。
・文字の高さ：１４０mm以上 ／幅８０mm以上　・太さ：２５mm以上 ／文字との間隔１５mm以上
＜文字例＞

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

※市販のMFJ公認のものでも可。大会本部でも販売しております。
※3桁ゼッケン番号は原則100番台までとするが、特別な理由がある場合はこれを認める場合がある。
※著しく番号の書体及びゼッケンカラーが違う車両は出走停止となる場合がある。

12；MY PONDER（トランスポンダー）導入
1）全車トランスポンダーによる計測を実施します。
2）ポンダー貸出料は1000円とします。朝の受付時に2000円で受け取り、返却時に1000円を返却します。
3）レース終了後は速やかに大会本部にご返却ください。持ち帰り注意。
4）マイポンダーを購入者はそれを使用できるので、エントリー用紙に番号を記入すること。充電切れ注意。
5）ポンダー取り付けのタイラップは各自ご持参ください。